

行雲流水

No. 3 0 6 令和5年5月23日発行

生徒主体の運動会に拍手

校長 寒河江 正人

あらためまして、生徒諸君、教職員の皆様、おつかれさまでした。いい運動会でしたね。

まずもって、**創立30周年の節目にあたる令和5年度の「春季大運動会」**が、**実に4年振りに、すべての学年の保護者の皆様、そして、ご来賓の方々**を迎え、**そしてまた、今年も天候にも恵まれて、**(少し肌寒いくらいでしたか?)**成功裏に締めくくることができました**ことに、心より感謝御礼申し上げます。

また、**3年前より、運動会の主役は、生徒諸君自身。**

開会式・閉会式には、**大人は決して出しゃばることなく、大人はあくまでも黒子となって、生徒自身の実行委員会が中心となって、そして、各軍の組頭が中心となって、生徒自身が全面に出て行う「生徒主体の運動会」**にしていまいりました。

中学生という発達段階が抱える発達課題を乗り越えて、**きみたち生徒諸君が、より一層の成長と発達を促すためには、****こういう開催運営の姿を模索することは、大切なことだ**と信じております。

また一方、運動会が学校の一大行事だからといって、**準備や練習に費やす配当日数・配当時数を無制限にメタボ化することなく、限られた日数と時数の範囲のなかで、スリム化・コンパクト化を図って、効率的に「ある一定の教育効果」を挙げる**ということにつきましても、**当日の生徒諸君の笑顔や、いきいきと活躍する姿**を目の当たりにすると、**これはきっと具現化できた**であろうものとうれしく思いました。

それでは、**当日に至るまでの生徒諸君と教職員の皆様のご尽力に感謝して、そして、お互いの精一杯の頑張りを大いに称えつつ、お互いに大きな拍手で、労をねぎらいたい**と思います。
おつかれさまでした。

結びに、当日、参観してくださった保護者の皆様、ありがとうございました。